

～男女共同参画社会の実現に向けて～

# モア MORE

さって ひと ひと  
幸手市女と男の情報紙  
第3号 '98



題「水蓮」石塚忠夫（市内北3丁目在住）

## 大变身

今、ぼくは雲。

風に押され、進んでる。

中学では、鳥になろう。

自分で、はばたく、

鳥になろう。

今、ぼくは石。

もろくて、すぐ割れる。

中学では岩になろう。

大きく、じょうぶな、岩になろう。

今、ぼくは種。

小さな、小さな種。

中学になったら、咲かせるぞ。

いろんな願がこもった花。

たくさんたくさん咲かせるぞ。

上高野小学校

六年 辻 本 雄 一

（平成十年二月現在）

あなたの生活を

# ジェンダーチェック

「ジェンダー」とは、本来の生物学的な性差（セックス）ではなく、「女らしさ」「男らしさ」というように、女（男）はこうあるべきものとされた、社会的・文化的に作られた性差のことをいいます。日頃何気ないうちに性別で役割を決めていますか。あなたのジェンダー度を試してみましょう。

## ～生活自立度チェック～

- |                      | はい                       | いいえ                      |
|----------------------|--------------------------|--------------------------|
| ①ゴミ出しは、自分でしている       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ②地域活動には、自分で参加している    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ③食料品などの買い物は、自分でしている  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ④自分の下着は、自分で管理している    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑤お茶くらいなら自分で入れられる     | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑥ボタンくらいなら、自分でつけている   | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑦食事の後片付けは、自分でしている    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑧掃除は、自分でしている         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑨洗濯は、自分でしている         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑩冷蔵庫にあるもので、簡単な料理ができる | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

### ◎「はい」が5個以下の方

毎日みんなで生活しているのに、誰か一人だけ負担が多くなっていませんか。何事にもチャレンジして、性別に関係なく「共に協力し合う」という意識で、個性と能力に応じた役割分担を家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。

### ◎「はい」が4個以上の方

人は、性別に関係なく一人ひとりの個性があり、得手不得手があります。「男は仕事、女は家庭」という固定的な役割分担の考えが暮らしの中のさまざまな場面で、いろいろな制約を引き起こしています。

もう一度「はい」の項目を読んで暮らし方を見直してみませんか。

## ～思い込み度チェック～

- |                      | はい                       | いいえ                      |
|----------------------|--------------------------|--------------------------|
| ①お茶は女性に入れてもらう方がおいしい  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ②世帯主はやはり男性である        | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ③子育ては女性の方が向いている      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ④運転は男性の方が向いている       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑤料理の後片付けは女性の方が向いている  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑥修理や庭木の剪定は男性の方が向いている | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑦介護は女性の方が向いている       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑧トラブルの処理は男性の方が向いている  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑨家事は女性の仕事だと思う        | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑩やはり「男は仕事、女は家庭」だと思う  | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

## ～「あれ？」度チェック～

- |                                    | はい                       | いいえ                      |
|------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ①ゴミ出しを男性がしていると「あれ？」と思う             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ②洗濯物を男性が干していると「あれ？」と思う             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ③スーパーなどの買い物袋をさげている男性を見かけると「あれ？」と思う | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ④保育所などの送迎を男性がしていると「あれ？」と思う         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑤子供の参観日に、保護者の中に男性がいると「あれ？」と思う      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑥子供の病気を理由に、仕事を休む男性がいると「あれ？」と思う     | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑦工事現場などで女性が働いていると「あれ？」と思う          | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

- |                               | はい                       | いいえ                      |
|-------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ⑧バス、タクシーなどを女性が運転していると「あれ？」と思う | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑨子供の保護者欄に女性名があると「あれ？」と思う      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ⑩自治会などで女性が会長をしていると「あれ？」と思う    | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

### ◎「はい」が4個以上の方

毎日の暮らしの中で、「女（男）はこうあるべきだ」という自分の意識が何気なく働き、人の行動を「あれ、なにか変だな？」などと制約していませんか。

いろいろな生き方を認め合い、やさしく支え合うことができる社会にしていましょ。

市民の皆さん 100人に



アンケートをお願いした年齢層は、  
 20～30歳代 男性 16人 女性 16人  
 40～50歳代 男性 16人 女性 16人  
 60歳以上 男性 16人 女性 16人  
 計 96名の方です



## ジェンダーチェックをやってもらいました。

### 生活自立度チェック

	「はい」の数が	
	5個以上	5個以下
全 体	75人 78.1%	21人 21.9%
20～30男	9人	7人
40～50男	9人	7人
60以上男	9人	7人
20～30女	16人	
40～50女	16人	
60以上女	16人	

生活自立度については、8割弱の方々が合格点を取っています。しかし、女性は全員自立した生活を送っているのに対して、男性は約半分の方々は、自分の生活が自立出来ていないようです。特に食事の片付けと洗濯については、約8割の方が他の人にやってもらっているようです。「男は仕事ができれば家事などはやらなくてもいい」なんて思っている男性の方はいませんか。

### 思い込み度チェック

	「はい」の数が	
	4個以下	4個以上
全 体	39人 40.6%	57人 59.4%
20～30男	9人	7人
40～50男	2人	14人
60以上男	5人	11人
20～30女	14人	2人
40～50女	9人	7人
60以上女	16人	

この項目は、全体でも約4割の方々しか合格点が取れませんでした。

特に40～50歳代の男性の方、60歳以上の女性の方は、社会的・文化的につくられた固定的な役割分担に縛られているようです。

また、思い込みの典型的な「男は仕事、女は家庭」の設問にも半数以上の方が「はい」と答えていました。ご夫婦の中で、仕事に向いている男性と、家事に向いている女性が結婚している方もいらっしゃると思いますが、家事に向いている男性や仕事に向いている女性もいると思います。家庭の中での役割分担は、性別ではなく個性を尊重して決めてみると家族皆がイキイキとした生活ができるのではないのでしょうか。

### 「あれ？」度チェック

	「はい」の数が	
	4個以上	4個以下
全 体	82人 85.4%	14人 21.9%
20～30男	14人	2人
40～50男	14人	2人
60以上男	7人	9人
20～30女	16人	
40～50女	15人	1人
60以上女	16人	

この項目は、8割以上の方々が合格点を取れました。しかし、60歳以上の男性の半数以上の方は、「女(男)はこうあるべきだ」という気持ちが強いようです。特に「洗濯物を男性が干して…」の設問には、7割の方が「あれ？」と思ってしまうようです。洗濯は女性の仕事ではなく、手の空いている人や得意な人が行うのがいいと思いますが、この考え方は変でしょうか。

少し強引な設問もありましたが、○●は男性、○●は女性というようなことは、生物学的な性別以外には当てはまらないと思います。家事をしたことのない男性の方々試しに家事をやってみると、新しい自分の個性を見つけられるかもしれませんよ！

# 〜幸手市平和のつどい〜 女性問題講演会

評論家 小沢遼子さんを迎えて

平成9年7月21日、北公民館において、評論家・小沢遼子氏を迎えて、平成の歩き方「指南」と題し、女性問題講演会を開催いたしました。

今まで経験した事もないような事が、日常的におこる昨今、心に不安を抱える変化の多い現代を、どう生きていたらいいのか、また、未来の担い手である子供たちに、多大な大

人の期待が夢を抑制していること、個性を尊重し育む事の大切さなど、面白い話術の中にも力強く話されました。

参加された皆さんの、笑いあり、また共感の拍手等、充実したひとときをすごしました。

また、当日は併せて「幸手市平和のつどい」も開催され、幸手市内の中学生が平和をテ

ーマに、平和を願う心あふれる素晴らしい作文の発表があり、その後の講演と併せて、たいへん意義深い講演会となりました。

力強く講演される小沢遼子さん



# 女と男の共生セミナー

## 平成9年度 女と男の共生セミナー



熱演する宝井琴桜さん

さいました。

ひと昔前の男尊女卑の時代は過ぎて、今、日本全国共稼ぎ時代となり、女ばかりに家事育児を押しつける時代は過ぎました。女と男が助け合い、よりよく生きて行くためのノウハウを笑いをまじえてのお話に、参加した皆さんも聞きいってました。

女だから男だからという区別を付けずに、個性と能力を生かし、共にイキイキと未来に向かって生きて行こうと教えて下さいました。おもしろくて楽しい宝井琴桜さんの講演でした。

二日目は、アメリカ南部のどかな町を舞台に、人生の営み、結婚、誕生と死といった人間の生活に不変のテーマが、笑いと涙で繰り広げられる、映画「マグノリアの花たち」を上映いたしました。

主人公のシュルビーが難病と戦いながら結婚し、医者

警告にも関わらず子供を生んで、短い生涯を終える。常に娘シュルビーを最後まで励まし続けた母親マリン。そしてこの母娘を見守り続けた4人の女たち。参加された皆さんも深い感動で、目頭を抑える方もいらっしゃいました。

【幸手市と幸手市女性問題協議会では、来年度も講演会、女と男の共生セミナーを開催する予定です。内容も気軽に参加できるように考えておりますので、少しでも興味のある方は、ぜひご参加ください。なお、日程は広報紙等でお知らせいたします。】

## 夏の花紙



市内北3丁目の医師石塚忠夫さんが、仕事の傍らおもに風景画を中心に描いた作品の一つで水元公園の水蓮を描いた作品です。

# 輝きコーナー

## わが家の場合



中山さんご夫妻

光枝さん…自動車免許の他にトラクターやフォークリフトの免許も取りました。結婚前は農作業をやったことはありませんでしたが、今ではトラクターでの単純作業のときなど眠気覚ましにカラオケを聞いたり口ずさんだりする余裕もできました。夫婦で力を合わせないで出来ないうえ、二人でした。」

30年にわたり、幸手市稲作研究会（稲作栽培戸作業の研究・技術向上と作業の受託）の会員として農業を支えてこられた、下吉羽にお住まいの中山鋭男さん（54歳）、光枝さん（52歳）ご夫妻にお話を伺いました。

〈農作業のご苦労は〉  
 鋭男さん…今は機械の性能も良くない仕事にも慣れましたが最初の頃は人手、特に力仕事が多く、また、作業や機械のことを覚えるまでが大変でした。

〈喜びは〉  
 仕事有一段落した時、共に歩んできた仲間と食事や旅行に行ったり、みそ作りなども楽しいです。

〈夢は〉  
 ぜひ、冷暖房完備のトラクターに乗せて仕事をしたいです。

## 「自分らしく 生きられる社会に！」

日本女性会議  
'97おかやま参加報告



「女たちは、今」と題しての基調講演で、法政大学の田嶋陽子教授は、女性1人1人が、人間として

「個人」になり、1本の木のように根をはり、枝葉を広げてつなげるように、ツリー型人生、ツリー型社会を強く訴えられました。女性への暴力、自己決定権、社会意思決定の場への参画をテーマに多角的に性問題をとり上げた手作りのミュージカルが上演され、午後からは8分科に別れて討議が行われました。

2日目は、全体会として「社会を動かす女のエンパワーメント」と題して、パネルディスカッションが行われ、東京大学の野千鶴子教授をコーディネーターとして、自分らしく生きられる社会実現を目指して3人のパネラーを討議させていく。少子高齢化社会では無償労働（アンベードワーク）をいかに有償労働に変えていくか。男女の賃金格差の是正。行政と連携した市民活動の重要性等が挙げられ、3千人余りの女性達が集い熱く語られた2日間は、各々の思いを胸にとじました。



当たり前前の生活を有り難く思う

「人は人との出会いによって成長していくもの。」と何かで読んだ気がします。

私がIさんと出会ったのは平成5年3月、障害をもたれた方々の親睦旅行のボランティアを依頼された時でした。

その後、やはり私がボランティアで関わっているリハビリ教室にも誘い、参加するようになりました。

Iさんは車椅子での生活ですが、そんな事を微塵も感じさせないほど明るく、前向きな頑張り屋さんです。リハビリ教室の時もIさんがいると周りが明るくなります。

Iさんが事故にあわれた当時、小学生だった2人の娘さんたちも今は結婚され、お孫さんに囲まれ幸せな若いおばあちゃんです。健康者でも子育ては大変なのに言葉では言い表せないほどのご苦労をさ

れた事だろうと思ひ、そんなIさんの今までの人生を考えた時、私たちの悩みなど悩みにうちに入らないのではないかと思います。

Sさんは、片麻痺と失語があり、初めは理解することが出来なかつた言葉も、読み取ることが出来るようになった頃、他の病気を併発し、入院生活を余儀なくされたSさんですが、病室を尋ねた私にニコリ笑ってくれましたが、「痛い」とも「苦しい」とも言えないSさんに「神様は何で！」と思ひ胸が痛くなりました。

ボランティア活動の中で沢山の出会いと別れがありました。触れ合いと感動の繰り返しのなかで、当たり前前の生活が出来たことを有り難く思ひ自分も育てられたように思ひました。

今回は、ウクライナから、東京大学の研究生として日本に  
来ているコヴァリヨヴ・ナタリアさんにお話を伺いました。

〈家族を紹介してください〉

夫のデIMITロ、長男のユ  
リ（10歳）、長女のソフィヤ  
（8歳）、2男のイワン（6歳）  
の5人家族です。

〈幸手市に住むきっかけは〉

大学に近い東京では、子供  
が1人で学校に行ったり、遊  
びに行くことが出来ないと思  
い、近くに公園があり、空気  
のきれいな郊外を希望したと  
ころ、この団地を勧められた  
からです。この団地は公園も  
あり、木もあり、ウクライナ



コヴァリヨヴさんご一家

のアパートに似ていて気に入  
っています。

〈日本の女性とウクライナ  
の女性の生活の違いは〉

根本的に生活習慣が違うの  
で一概にはいえませんが、日  
本の女性は働いていない人が  
多いと思います。ウクライナ  
では、全部とは言いませんが  
多くの女性は働いています。

ですから、日本のような幼  
稚園はありません。おじい  
ちゃんおばあちゃんに預ける人  
もいますが、ほとんどの家庭  
では保育園に預けています。

私も今働いていて、保育所  
に2男を預けていますが、日  
本の保育所は時間が短いと思  
います。ウクライナでは、朝  
は6時から始まり、夕方は8  
時30分頃まで預かってもらえ  
ます。日本では、子供を預け  
るとフルタイムで働きにくい  
と思います。

〈家庭での男女の役割につ  
いては〉

## 制御と熟成



ジャガイモは冬の間には芽を出してしまいます。もし、芽が  
出た場合、芽かきをしてリンゴ数個を箱又は袋と一緒に入れ  
ておくと、芽のび防止になります。

また、キウイフルーツもリンゴと一緒に袋に入れておくと  
早く熟成します。

みかんは箱で購入した場合、腐れやすいので、箱の中に松  
葉を一握り入れると、もし腐ったみかんがあっても他に移ら  
なくなります。



## 白菜漬けの酸味抜けは卵の殻



白菜漬けがすっぱくなってしまったら、洗った卵の殻をガ  
ーゼに包んで白菜の間にはさんで、普通に重しを置きますと、  
すっぱさが和らぎます。

これは、卵の炭酸カルシウムが中和作用し、酸味をやわら  
げてくれるからです。

また、逆に酸味を生かして、いため煮してもおいしいもの  
です。

## ● 編 ● 集 ● 後 ● 記 ●

前にも話しましたが、ウク  
ライナの女性は働いている人  
が多いので、家事・育児につ  
いては、夫と協力して行うの  
が一般的です。日本の男性は  
子供と触れ合う時間をもっと  
持った方がいいと思います。

【流暢な日本語でお答えいた  
だいたナタリアさん。難しい  
言葉は夫のデIMITロさんと  
話し合っていた、たいへん仲  
のよい御夫婦でした】

今回の「ジエンダーチュ  
ク」はいかがだったでしょう  
か。  
設問や解説に少々無理など  
ころもあります。この「ジ  
エンダーチュク」を通して  
「こういうことが女性問題な  
のか」と少しでも感じていた  
だければ有り難いと思ってい  
ます。

名前である「モア」という名  
前は手前味噌ですが、いいな  
と実感しています。  
そもそも「モア」という名  
の由来は、より多く！よりす  
ばらしいものにと！さらに女  
と男がより豊かに！と願いを  
込めて命名されたものです。  
女性も男性も、より自分ら  
しく生きられる社会を目指し  
て頑張っていきたいと思いま  
す。